

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年 3月10日

開催日	平成30年 3月 8日	時 間	10:00～12:00
場 所	金沢公会堂リハーサル室	出席人数	12名
講 師	真田雅行氏	作成者	高杉和枝
テーマ	第一学習 野嶋浦 鈴木家文書④		
概 要	<p>○漕桂網禁止の議定書 この漁法の被害が大きいのので禁止協定を結んだ。しかし横浜村と北方村が御三家の一つ橋家より依頼され再び桂網漁法を始めたので訴えられて、不行届き心得違いとして両村より書付も入ったので、示談で差し障りがあるので新規大網職はやめることとして下記村々で協定を結んだ。</p> <p>文化四年四月 武州野嶋浦名主 弥惣兵衛： 小柴村・富岡村・杉田村・森三か村・磯子村・滝頭村・根岸村 本郷村・北方村・横浜村・野毛村・神奈川狛師町・新宿村・生麦村・羽田村・御林町・新宿村 三浦郡： 浦郷村・長浦村・公郷村・大津村・走水村・鴨居村・久里浜村 惣代 横須賀村 名主 忠五郎 上総の国： 新井村・西川村・大堀村・桜井村・木更津村 惣代 富津村 名主 嘉右衛門</p> <p>○真鶴村 鯛長縄 与七郎の願書 文化十二年乙亥十二月 泉州堺より寛文年間に移住し、稲葉丹後守（小田原藩主）の代より真鶴で、鯛長縄と御菜運上を十か年間請負ってきたが、不漁続きの上、御菜運上請負を召し上げられ困窮している。ついては来る子年より酉年まで、一か年に金四十二両貳分、十か年に金四百二十五両にて請負金と年三両ずつ冥加金を納めるので請負わせてほしい。</p> <p>○保土ヶ谷宿 旅籠屋惣代 三四郎の一札差入れ 文化十四年丑年四月 野嶋浦 名主 四郎兵衛 あて 旅人の浦賀往来について前々から陸地を保土ヶ谷、金沢を経て野嶋浦より舟渡しで横須賀にきていたが、近来は神奈川狛師町から直接横須賀、大津、鴨居へ舟渡しで来ている。このため保土ヶ谷・金沢の道筋村々は難儀するので、野嶋浦からの舟渡しにして欲しい。</p>		
次回予定	平成30年 3月22日 10:00～12:00	於： 金沢公会堂リハーサル室	第二学習 艱難実録⑦